

茨城県産ベニアズマに、  
バターとシナモンで香りづけ  
こんがり焼き色をつけました。

新商品

焼芋ようかん

1,000円の品 1個 800円

皮ごと食べられる高級ぶどう品種  
シャインマスカットをまるごと包んだ  
大福です。

まるごと  
マラソン  
応援企画!

まるごと  
シャインマスカット大福

200円の品 1個 160円



熊本県産の栗あんで、  
おはぎをつくりました。

栗おはぎ 300円の品 1個 250円



渋皮付の栗を一粒まるごと包んだ焼きまんじゅう。  
今年は餡にミルクが入ってさらにしっとり。

栗まんじゅう 240円の品 1個 200円



茨城県産の栗を  
ひとつひとつ  
丁寧に身をほぐして  
栗きんとんにしました。

栗きんとん 250円の品 1個 200円

# 秋の収穫祭

【売出期間】9月29日木～10月2日日

戸田屋正通

とだやしょうどう

各日限定  
50箱



秋の上生菓子セット

810円の品  
3個入 700円

各日限定  
100箱



パッション大福 180円

山形県パッションフルーツを、  
あんこと生クリームに合わせ大福  
にしました。

モンブラン大福 200円

熊本産の栗ペーストでマロンク  
リームをつくり、モンブラン風の  
大福にしました。

チャイ大福 180円

紅茶を煮出して作ったミルク  
ティー風味のクリームを、シナモ  
ンのきいたお餅で包みました。

秋の大福セット

1,120円  
の品  
6個入

900円

〒990-0032 山形市小姓町1番32号  
午前9時～午後6時30分  
定休日／元日、第二・第四水曜日(祝日・繁忙期は営業)

<http://www.toda-ya.com>  
※掲載された価格は  
すべて税抜きの価格です。

菓道幸心 戸田屋正通

TEL.023-622-6728

三代目 戸田健志

選・和菓子職認定記念

詳しくは  
裏面を  
どうぞ



1個 120円

「やっしうまかしよで  
シャン シャン シャン！」  
山形をもっと楽しくする菓子として  
末永く愛していただければ幸いです



おかめ  
ファンクラブ

## 戸田屋のお客様におはなしをうかがいました。 ◎ インタビュー #028

細川 利恵子 さん

引っ越し後のアパートなどのお部屋専門クリーニングを行う「クリーン・クリーン ミミ」代表。女優・グラビアアイドルとして活躍する橋本マナミさんの母でもある。

先祖代々貸家をやつており、私が継いだのが三十二年前。それが今、の仕事をはじめるきっかけになっています。その頃はハウスクリーニング業というのがなく、大家である私が引っ越し後、清掃をやつていたんです。そこで、ご縁があつたプロの方に教わりながら試行錯誤の日々を重ねて……。そしたら不動産屋さんがすごくうめくださつたんです！ それが

「結構楽しいじゃん」と逆にいよいよ見つけられることも多いんですよ。だからこそ、今も続けられてるのかなと思います。

起業してから失敗したことでも、あつたけれど、仕事に関しては超ポジティブ！ ブレイクするまで十七年辛抱を続けてきた娘とは、そんなところが似ているなと思います。今は息子と仕事をしていくますが、現場での学びがたくさんある。掃除は部屋をキレイにするだけじゃなくて、たくさんのこと教えてくれるんです。

とても嬉しくて。実は家事の中ではお掃除が一番嫌いでした(笑)。でも「好き」なことを仕事にしてだんだん嫌いになることはあるけれど、「嫌い」がスタートだったらそうはならない。やりながら

ごとに師匠へ  
を出すことに  
先頃出した手  
が届きました。  
一人の便りに、  
とは百も承知  
りでしたが、  
のでした。そ  
う思います。

**編集後記**

私は、事あるごとに師匠へ近況報告の手紙を出すことにしていますが、先頃出した手紙に、初めて師匠からの返信が届きました。

何十人といふ弟子達の中の一人の便りに、いちいち返していられないことは百も承知のこと。それだけに嬉しい便りでしたが、その内容もとても心に響くものでした。その内容を一部紹介したいと思います。

『厳しい時代は続いているが、お菓子作りへの真心や、人のために尽くす気持ちが大切です。どんなに深く掘り下げる、終わりのない世界だから楽しい。掘っている途中に色々な宝物が出てくる。でも出て来ない事の方が多い。諦めたら何もない。頑張った分は必ず返ってくるから、いつも今が大切です。』

最後に、『私まだまだやりたい事がたくさんあります』と締めくくられたこの手紙。齢七十を過ぎた今もまだまだ現役で、弟子たちには負けていられないと、日々精進する師の姿に、勇気付けられ、そして、この人の弟子で本当に良かったと心から思えました。

私の生涯の宝物の一つになり、選・和菓子職認定への励みになったことは言うまでもありません。(三代目 戸田健志)

**品質責任の証**

当店では、磯部晶策氏（岩波書「食品を見分ける」著者）の唱する磯部理念に基づいた菓子づくりをしております。

お客様に心の底から喜んでいただける徹底した菓子づくりと、お客様の後ろ姿に「どうぞお幸に」と祈りの販売をすることにより、品性資本を蓄えることを当の理念としております。

**◆ よい食品の四つの条件**

一、安全で、安心して食べられること  
二、こまかしのないこと

◆◆よい食品の四つの条件

- 一、安全で、安心して食べられること
- 二、こまかしのないこと
- 三、味のこと
- 四、品質に応じて価格が妥当であること

◆◆食品に携わる人の四つの原則

- 一、原材料の厳選
- 二、加工段階の純正化
- 三、固い信念にもとづく一徹な  
メーカーの姿勢
- 四、メーカーといえども99%は消費者の  
立場と自覚

# 心事遊菓 戸田屋正道

**http://www.toda-ya.com**  
〒990-0032 山形市小姓町1番32号  
午前9時～午後6時30分  
定休日／元旦、第二・第四水曜日（祝日・繁忙期は営業）  
**TEL.023-622-6728 FAX.023-634-6722**

# 三代目 戸田健志さん

去る八月三十日、第九回選・和菓子職『優秀和菓子職』部門の最終審査において、戸田屋正道三代目の戸田健志さんが晴れて『優秀和菓子職』の認定を受けました。足掛け五年、四度目の挑戦で、これまでの努力が報われ、見事トップ合格での認定に社内は祝福ムード。県内では初の認定者が誕生しました。

選、和菓子職とは、伝統的な  
つ、高度な技術を必要とする和菓  
子の製造技術を、和菓子業界が全

国的に統一して公平に評価し、権威をもつて認定する制度。優秀和菓子職に認定されることは、誰もが認める優れた技術を有し、創作的な手作り和菓子が出来る技術があることを証明するものであり、和菓子製造に携わる者にとって、最高の栄誉ある勲章を受けることに等しいのです。（全国和菓子協会ホームページより抜粋）

「今回頂いた認定は、これまでご指導頂いた師匠、先生方はもとより、当店をご愛顧くださるお客様

優秀和菓子屋でもあります。地方の  
和菓子屋でも  
全国に通用する和菓子を提供でき  
ているということが、お買い求め  
くださるお客様の安心感へ繋がるわ  
け幸いです。今後は優秀和菓子職人職  
の認定者として、その権威を損な  
わぬ菓子作りに努め、一層の努力を  
をしてまいります。」と三代目はさ  
すね！」

磯部晶策氏が他界しました。享年九十一。食品コンサルタントとして、私の菓子作りに大いに影響を与えてくれた人です。氏は、近年の食品があまりにも食品添加物に頼りすぎていること、また行き過ぎた食のグルメ化に対し、大変危惧しておりました。氏は、旧三高（京都大学）の医学部に入学しましたが、肺結核を患いその道を断念、代わりに食品の研究に生涯を捧げた人です。誰よりも深く学び、誰よ

平成二十九年七月二十二日  
磯部晶策氏が他界しました。享年九十一。食品コンサルタントとして、私の菓子作りに大いに影響を与えてくれた人です。氏は、近年の食品があまりにも食品添加物に頼りすぎていること、また行き過ぎた食のグルメ化に対し、大変危惧しておりました。氏は、旧三高（京都大学）の医学部に入学しましたが、肺結核を患いその道を断念、代わりに食品の研究に生涯を捧げた人です。誰よりも深く学び、誰よりも広い知識を持ちながら自分には厳しく、潔癖でいつも紳士を貫き通していた磯部晶策氏。氏の暖かな眼差しの中にも、鋭

「機部塾」を示す「説得力があらへて視線で食い上げ、食品の上昇は勿論、瓦（シユーベー、民謡等）に門人の豊かさにもご尽力され、毎月の山形に来るたようでした」と月ご来店いたる違う歳の差をく、菓子の方山話に花を咲かせて語り合いました。

品を見つめる姿には、やはり、私たちに「磯部」という勉強会を立ち上げたのです。この知識や理念の勉強会に、私たちが葉集から歌曲ルートやアイルランド音楽を始めたまで、いたるまで、私たちの間で人間性を養うための勉強会に名古屋から多くのを楽しんでいました。晩年はなされました。ただ、親子ほどもを感じさせることなく、話をや趣味のこと、四話を咲かせ、時を忘れました。

此日も私たちは食品に携わる者のオピニオンリーダーとしていつまでも記憶にとどまることがあります。当然ながら、当店の理念としても掲げさせて頂いている「磯部理念」をこれからも守り通すのは勿論のこと磯部晶策氏の門人である以上今以上に理念を普及させることが氏に対する唯一の供養であると思つています。

# 菓子職人日記

戸田 正宏

